

# カラカネトンボ

*Cordulia aenea amurensis* Selys

## トンボ目エゾトンボ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

### 選定理由

金沢市の医王山と日尾池周辺および白山市白峰地区から知られるのみで、個体数も多くなく、湿原の乾燥化による減少の恐れがある。

### 形態

腹長29~33mm、後翅長30~34mmの金緑色の中型種。オスの尾部上付器は円筒状で、下付器背面に突起がある。後翅の肘脈室に1本の横脈があるのが特徴。

### 国内分布

中部以北の山地~亜高山帯に生息し、東北や北海道では低地にも見られる。福井県大野市上小池~刈込池が西限。岐阜県白鳥町村間が池が南限。

### 県内分布

白山市白峰の明谷川源頭付近の高層湿原と、金沢市の医王山の3つの池と、日尾池および日尾平の湿原の小池が既知産地である。

### 生態

幼虫は山地の池沼や湿原に育ち、成虫は6月に活動する。未熟期には移動分散するが、成熟すると沼に現われ、オスは岸に沿って時々停飛しつつ占有飛翔を行う。メスは、岸近い水面上を低く飛びつつ、単独で打水産卵する。日尾湿原では、沼が小さいので、複数のオスが入り乱れて飛びかっていた。

### 生息地の条件

山地の樹林に囲まれた沼や湿原の池で、抽水植物や浮葉植物が適当に生え、開水面があり、夏季にも干上らないこと。強力な捕食者がいないこと。

### 生存の危機

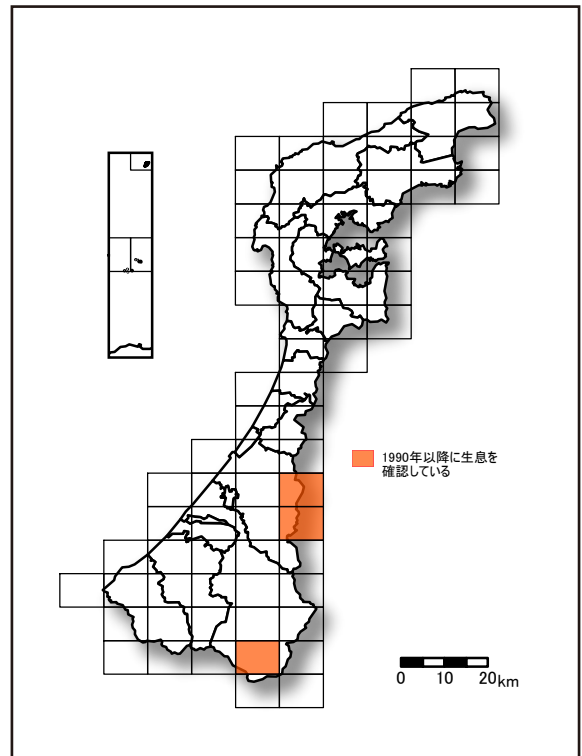
池沼を直接埋立てなくても、山道の建設や山林の伐採により乾燥化を起こす危険性がある。特に医王山では、堆積物で開水面が縮小し、干上りかける時もあり、個体群の小さいこともあって、継続して発生し得るか懸念される。日尾平湿原も、近年の高温化や寡雨のためか、乾燥化傾向にある。  
(B, D)

### 参考文献

武藤 明 1998. 石川・福井のトンボ4種について. 昆虫と自然, 33 (7) : 38.  
武藤 明 2006. 石川県の蜻蛉目. とっくりばち, (74) : 7-19.



標本提供者: 武藤明



県内の分布